

## 【ねらい】

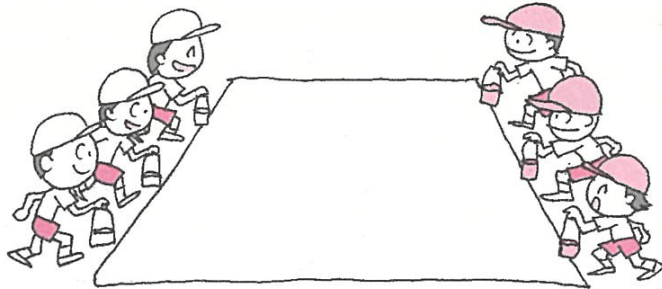
- ① 身体を動かして楽しく遊びながら、敏捷性や集中力、周囲への注意力を徐々に養っていく。
- ② 勝ち負けに拘らず、ルールを守って遊べるようになる練習をする。

## 【準備】

- ① 地面や床に丸や四角のコートを描く。  
大きさは、子どもたちが走り回れる程度。
- ② 1～1.5リットルのペットボトルを人数分用意する。  
中にはコップ一杯程度の水を入れ、ビニールテープなどでチームの色に分けておく。

## 【進め方】

- ① 2チームに分かれて、ペットボトルを叩いて落としあう。
- ② 両チームとも全員がそれぞれ1本のペットボトルを、親指と人差し指、中指でつまむようにして持つ。
- ③ 両チームがコートの外に分かれて、スタート。



## 【援助のポイント】

- ① 競争心を煽ったり、勝ち負けを強調したりせず、勝負に拘らないで楽しめるように声掛けしていく。
- ② ペットボトルを振り回してしまうことがあるので、必ず指でつまんでぶら下げないように伝える。
- ③ ルールを守って遊ぶ練習の機会と捉え、ペットボトルのつまみ方や、ペットボトル以外叩いてはいけないこと等をあらかじめ確認し、ルールを守った方が楽しく遊べることを伝える。

## 【発展】

- ① チーム対抗戦でも総当たりの個人戦でも楽しめる。
- ② ペットボトルは、ボールに変更してもよい。



- ④ 叩いていいのは、ペットボトルだけ。叩かれて、持っているペットボトルを落とされてしまったらアウト。
- ⑤ うっかり顔や身体を叩いてしまった場合もアウト。
- ⑥ アウトになった人は、コートの外で座って応援する。
- ⑦ 最後まで残ったチームの勝ち。

